

序 章

第1節 計画策定の背景と目的

村上市は、新潟県の最北部に位置し、北東部は朝日飯豊連峰^{あさひいいで}の山々が連なり、西部は50kmにも及ぶ美しい日本海の海岸線が続く、水と緑にあふれる自然豊かな地域である。平成20年(2008)4月には、旧村上市、旧荒川町、旧神林村、旧朝日村、旧山北町^{きゅうさんぼく}の5市町村が合併し、新たな村上市が誕生した。なお、現在は、旧市町村単位の地域が設定されている。

市内の各地には、旧村上市城下として発展した城下町や出羽街道、三国街道中通り、米沢街道等によって村上市城下と密接なつながりを持っていた宿場町、北前船の寄港地として栄えた港町等がある。これらの町や集落には歴史的な建造物が現存し、これらの建造物が創り出す歴史的な町並みも数多く残っている。

また、それらの町や集落では、地域固有の歴史や文化的な資源を活用した産業や独自の民俗芸能、習俗等が現在も受け継がれている。

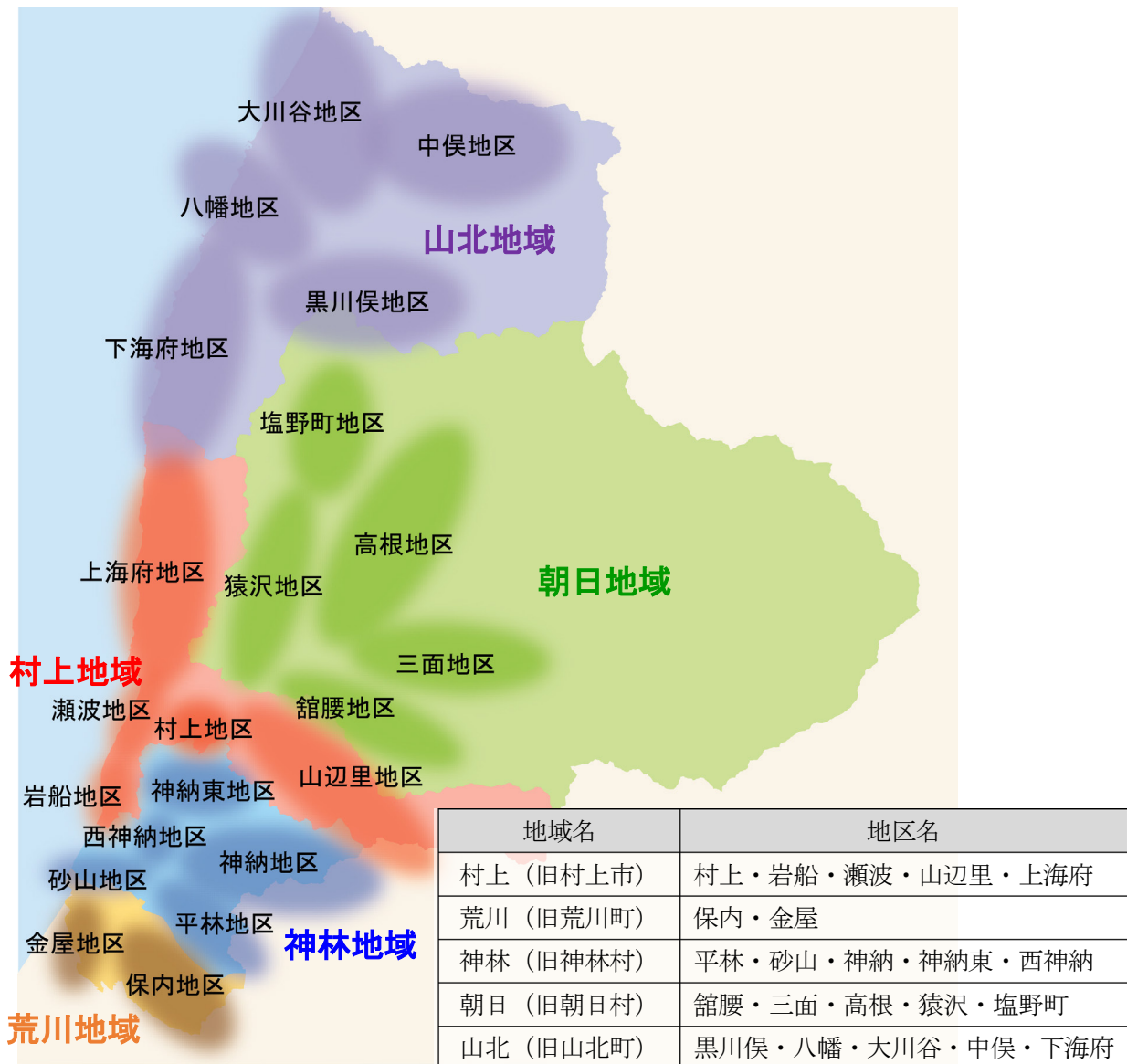


図 村上市の地域と地区の区分

当市の中心地である村上地域村上地区は、江戸時代初期、堀氏による本格的な城郭の普請や城下町の整備によって、その骨格が築かれ発展してきた町である。市街地の東には、地域のランドマーク的な山であるお城山（臥牛山）^{しろやま がぎゅうさん}があり、この山では約40種の野鳥が確認される等豊かな自然が残り、その頂周辺には村上城の遺構がある。また、その山麓一帯にかけては、往時をしのばせる武家住宅や町家等の歴史的建造物とともに、城下町時代からほとんど変わらない地割が残っている。

これらの歴史的町並みを背景に繰り広げられる村上まつりは、県下三大祭りの一つに数えられているほか、近年では、市民の手によるまちづくり活動として「町屋の人形さま巡り」をはじめとした催事や取り組みが盛んに行われており、県内外から多くの人々が訪れている。

このように、市内に残る歴史的建造物や町並みを保存し後世に受け継ぐため、当市では様々な取り組みが行われている。

平成2年（1990）に村上地域村上地区の旧村上城下の武家町で行われた「伝統的建造物群保存対策調査」や若林家住宅等の武家住宅の保存事業を契機として市民の歴史や文化に対する関心が高まり、平成12年（2000）には、「村上市歴史的景観保全条例」を施行し、町並み景観の保全に努めてきた。

また、平成14年（2002）には、財団法人日本ナショナルトラストにおいて、旧村上城下の町人町、寺町内を対象区域に観光資源保護調査として町家や町並み景観の詳細な調査が実施された。市民の間でも「むらかみ町屋再生プロジェクト」や「黒塀プロジェクト」等歴史的建造物の町家や歴史的町並み景観の保全や保存、活用の取り組みが進められている。

平成25年（2013）には、景観法に基づく「村上市景観計画」を策定し、市全域を景観計画区域として、市民、事業者、行政の協働による景観づくりに取り組んでいる。

このような中、平成20年（2008）には、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（以下、「歴史まちづくり法」という。）が制定され、国による歴史的風致維持向上基本方針の策定や市町村に対する支援がなされ、全国各地で歴史まちづくりに関する積極的な取り組みが行われている。

当市では、平成28年10月に第1期計画となる「村上市歴史的風致維持向上計画」を策定し、国の認定を受けた。

歴史的風致維持向上計画（第1期）では、旧城下町エリアを中心に老朽化したアーケードの撤去や建造物の外観の改修が実施されたほか、毎年度、歴史的風致形成建造物の追加指定を行い、歴史的建造物の保存を図りつつ、当市独自の取り組みとして歴史的風致を構成する活動に関連する店舗等を認定し、PRする制度を創設した。

これらの取り組みの結果、歴史的景観等の向上とともに観光客の増加や歴史的風致に関する市民意識の向上等の成果が見られている。

一方で、社会環境の変化や少子高齢化による人口減少等により、良好な歴史的風致を形成してきた歴史的建造物や祭礼等の活動の維持が難しい状況であることや、建物の老朽化や空き家・空き地の増加等により歴史的な町並み景観が失われるおそれもある等、未だ多くの課題を抱えている。

こうした状況の中、第1期計画の評価及び課題の整理を踏まえ、当市特有の歴史的風致を次世代へ伝え、受け継いでいくため、「村上市歴史的風致維持向上計画（第2期）」を策定する。

第2節 計画の期間

本計画の計画期間は、令和8年度（2026）から令和17年度（2035）までの10年間とする。

第3節 計画策定の体制と経過

（1）計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、市民や学識経験者、関係団体代表者、関係行政機関等の職員によって構成した市の法定協議会である「村上市歴史的風致維持向上協議会（以下「協議会」という。）」により、計画内容について検討を行った。

また、当市の文化財の保全や保存の方針を審議する「村上市文化財保護審議会」や景観計画等を審議する「村上市景観審議会」に諮り、かつ文化財所有者や管理者の意向も踏まえながら策定した。

また、歴史まちづくり法の関係行政機関である文部科学省（文化庁）や農林水産省、国土交通省、新潟県と協議や相談をしながら、市においては、都市計画課を中心に生涯学習課、観光課、農林水産課等で構成した「政策調整会議（庁内会議）」を開催し、関係各課と連携を図りながら協議、検討を行った。

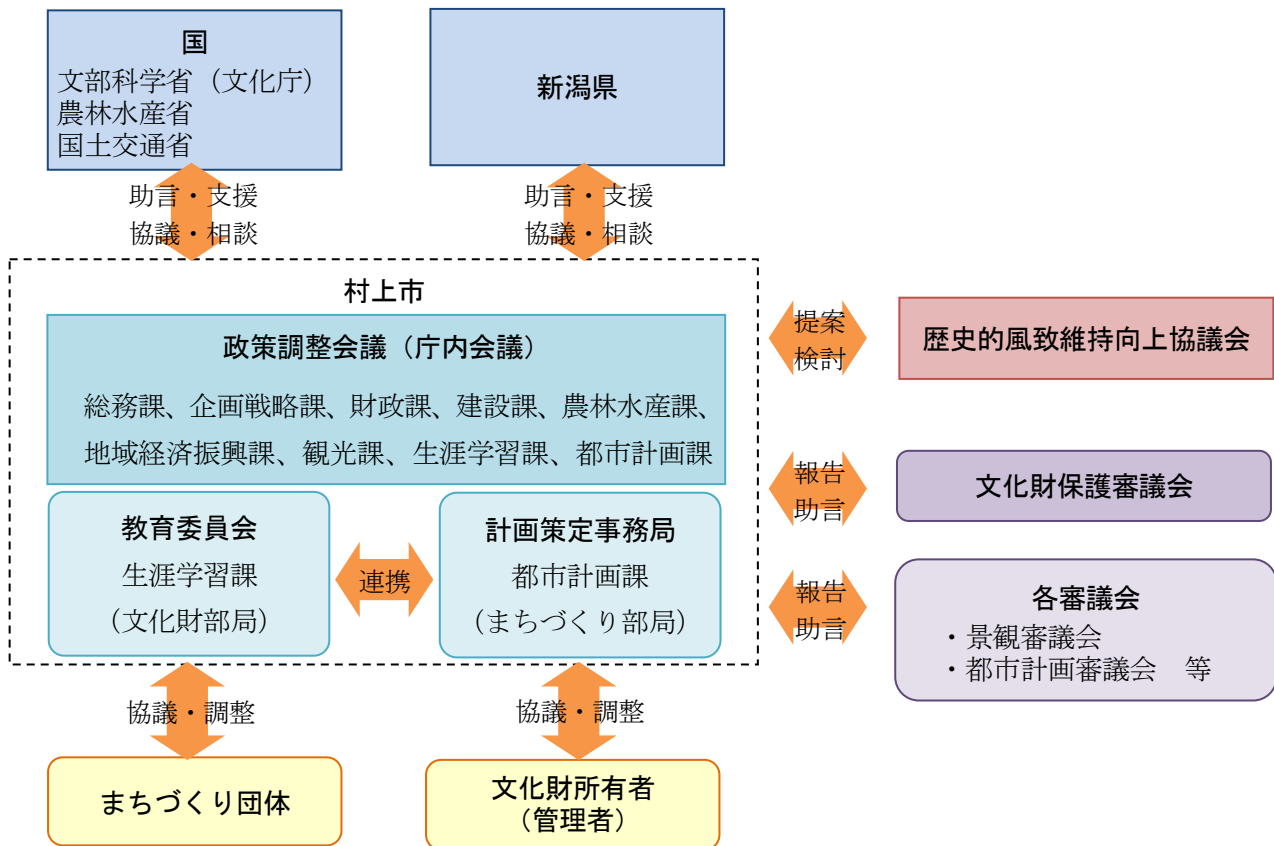


図 策定体制

(2) 計画策定の経過

本計画の策定にあたっては、庁内組織である「政策調整会議」及び「村上市歴史的風致維持向上協議会」における協議、市民の意見を計画に反映させるため計画案に対するパブリックコメント等を実施し、意見の聴取と計画の周知を図っている。

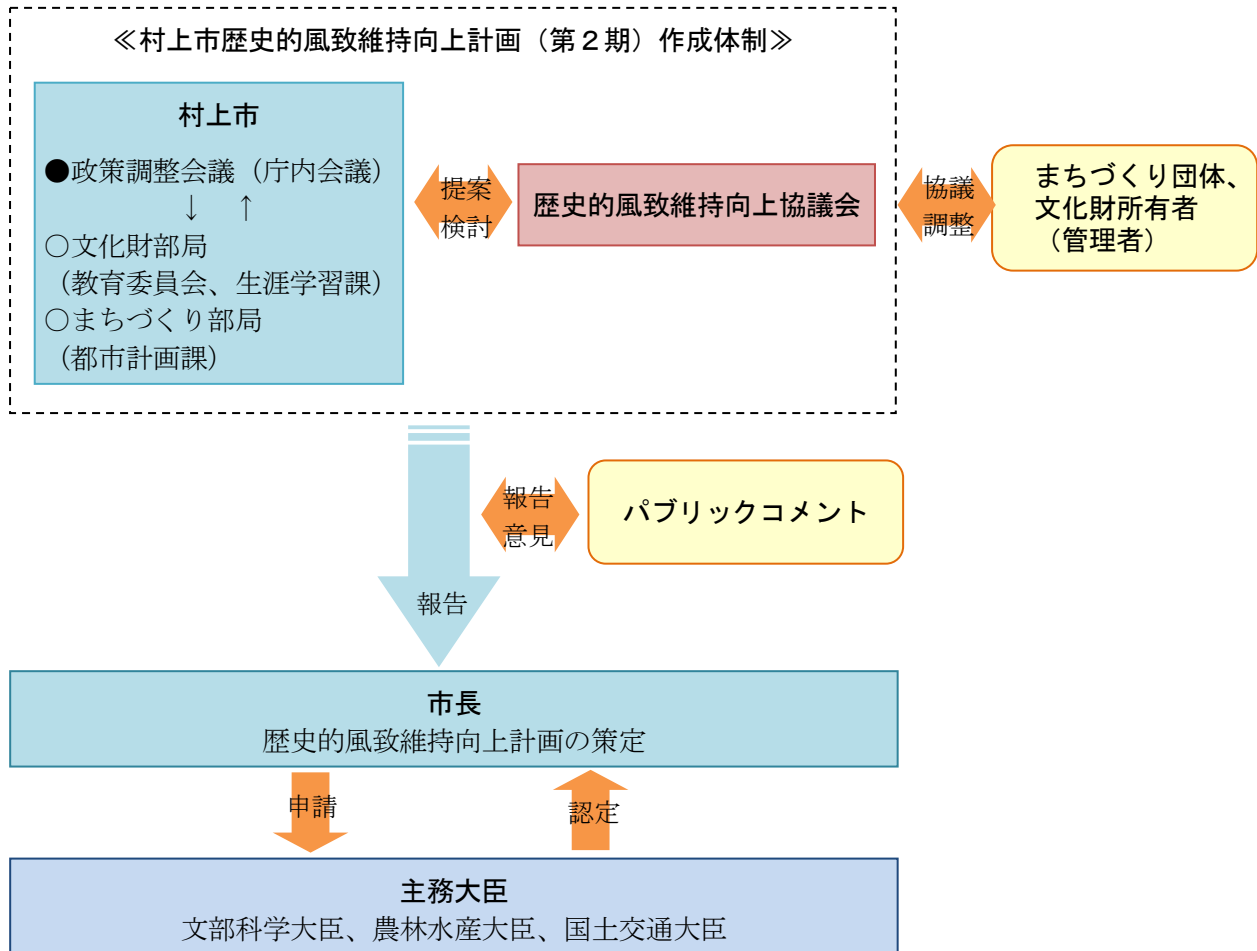


図 策定フロー

村上市歴史的風致維持向上計画

表 村上市歴史的風致維持向上計画の検討経過（第1期計画）

検討日時	会議等の種別
平成27年8月6日（木）	第1回 歴まち計画策定に係る政策調整会議（庁内会議）
平成27年8月27日（木）	第1回 村上市歴史的風致維持向上計画策定委員会
平成27年10月7日（水）	第1回 村上市歴史まちづくりワークショップ
平成27年11月5日（木）	第2回 村上市歴史まちづくりワークショップ
平成27年12月3日（木）	第3回 村上市歴史まちづくりワークショップ
平成28年1月7日（木）	第2回 村上市歴史的風致維持向上計画策定委員会
平成28年1月12日（火）	第2回 歴まち計画策定に係る政策調整会議（庁内会議）
平成28年2月15日（月）	村上市都市計画審議会に報告
平成28年3月23日（水）	第3回 歴まち計画策定に係る政策調整会議（庁内会議）
平成28年4月8日（金）	第3回 村上市歴史的風致維持向上計画策定委員会
平成28年5月23日（月） ～6月13日（月）	村上市歴史的風致維持向上計画（案）に関するパブリックコメント
平成28年5月25日（水）	村上市歴史的風致維持向上計画（案）に関する住民説明会
平成28年5月31日（火）	村上市文化財保護審議会に報告、意見聴取
平成28年6月3日（金） ～6月17日（金）	村上市景観審議会に報告、意見聴取
平成28年6月29日（水）	第4回 村上市歴史的風致維持向上計画策定委員会
〃	村上市歴史的風致維持向上計画策定委員会から市長へ村上市歴史的風致維持向上計画（素案）を答申
〃	第1回 村上市歴史的風致維持向上協議会
〃	村上市歴史的風致維持向上協議会から市長へ村上市歴史的風致維持向上計画（原案）を答申
平成28年9月7日（水）	村上市歴史的風致維持向上計画の認定申請
平成28年10月3日（月）	村上市歴史的風致維持向上計画の認定
平成30年3月14日（水）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第1回）認定申請
平成30年3月29日（木）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
平成31年3月5日（火）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第2回）認定申請
平成31年3月29日（金）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
令和2年3月2日（月）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第3回）認定申請
令和2年3月24日（火）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
令和3年3月5日（金）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第4回）認定申請
令和3年3月15日（月）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
令和4年3月15日（火）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第5回）認定申請
令和4年3月29日（火）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
令和5年3月16日（木）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第6回）認定申請
令和5年3月30日（木）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定
令和6年3月11日（月）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更（第7回）認定申請
令和6年3月29日（金）	村上市歴史的風致維持向上計画の変更認定

表 村上市歴史的風致維持向上計画の検討経過（第2期計画）

検討日時	会議等の種別
令和6年3月11日（月）	第8回 村上市歴史的風致維持向上協議会
令和6年10月10日（木）	第9回 村上市歴史的風致維持向上協議会
令和7年3月18日（火）	第10回 村上市歴史的風致維持向上協議会
令和7年7月31日（木）	第11回 村上市歴史的風致維持向上協議会
令和7年12月2日（火） ～12月22日（月）	第2期村上市歴史的風致維持向上計画（案）に関するパブリックコメント
令和8年3月4日（水）	第12回 村上市歴史的風致維持向上協議会
令和8年3月4日（水）	村上市歴史的風致維持向上協議会から市長へ第2期村上市歴史的風致維持向上計画（原案）を答申
令和8年3月6日（金）	第2期村上市歴史的風致維持向上計画の認定申請
令和8年3月19日（木）	第2期村上市歴史的風致維持向上計画の認定

村上市歴史的風致維持向上計画

表 村上市歴史的風致維持向上協議会 委員名簿

選出区分	氏名	役職名等	備考
学識経験を有する者	◎西村 幸夫	國學院大學観光まちづくり学部・教授（東京大学・名誉教授）	
	○岡崎 篤行	新潟大学工学部・教授（村上市景観審議会・会長）	
	大場 喜代司	村上市文化財保護審議会・会長	R6.6 辞職
	武者 秀雄	〃	R6.8 委嘱
	大竹 憲一	新潟県建築士会岩船支部・理事	
関係団体を代表する者	川崎 久	村上商工会議所・会頭	R7.9 辞職
	加藤 善典	村上商工会議所・副会頭	R7.11 委嘱
	益田 茂彦	村上市観光協会・元監事（歴史的風致形成建造物所有者）	
	川上 伊登志	村上・岩船景観会議・座長	
	吉川 真嗣	村上町屋再生プロジェクト・代表（歴史的風致形成建造物所有者）	
	近藤 正敏	村上地域まちづくり協議会地域活性部会・委員	
	船山 三喜雄	岩船まちづくり協議会文化事業部・委員	
	石井 秀逸	活気あふれる街瀬波まちづくり推進協議会・委員	
	江端 栄作	あらかわ地区まちづくり協議会・理事長	
	佐藤 修平	砂山地域まちづくり協議会・会長	R6.4 辞職
	村山 真実	〃	R6.5 委嘱 R6.11 辞職
	野澤 大六	塩谷活性化協議会・委員	R6.12 委嘱
	本間 みづえ	塩野町地域まちづくり協議会・会長	
	板垣 真	山北地区まちづくり協議会・委員	
関係行政機関の職員	宮嶋 孝吉	新潟県村上地域振興局地域整備部・副部長	R6.3 辞職
	松本 剛英	〃	R6.4 委嘱
	山崎 哲	新潟県村上地域振興局農林振興部・副部長	R7.3 辞職
	嵩岡 克明	〃	R7.4 委嘱
	渡辺 津与志	新潟県村上地域振興局・地域振興監	R7.3 辞職
	福間 和治	〃	R7.4 委嘱
	三ツ井 朋子	新潟県観光文化スポーツ部文化課文化資源活用推進係・副参事	
市の職員	平山 祐子	村上市教育委員会生涯学習課・課長（歴史的風致形成建造物管理者）	
オブザーバー	染谷 秀徳	国土交通省北陸地方整備局建政部・都市調整官	R7.3 辞職
	浅川 一之	〃	R7.4 委嘱

◎は委員長、○は副委員長（順不同・敬称略）